



園 だ よ り 6 月 号

YMCA 保育園ねがい
2020年6月8日発行



「 愛着の絆 」

4月20日からの休園期間が終了し、6月1日(月)から自粛期間として保育園を再び開園することができました。休園期間中、ご協力いただきありがとうございました。久しぶりに子どもたちと会ってみると、以前はゆっくり歩いていた子どもたちの歩行が安定し、園庭で小走りしていたり、背が伸びた子がいたり、また友だちとの関わり方に変化がみられたりと、心身の成長を感じることができました。それは、保護者の方が休園中、お子さんとの時間をたくさん持てたことにより、愛着の絆が深まったからだと思います。赤ちゃんは生まれてからすぐは、何もできません。様々な不快感を泣くことで表現し、その時に特定の大人に、抱っこしてもらい、お腹が空いたらおっぱい(ミルク・食事)をもらう、オムツを替えてもらう、うれしい時には一緒に喜ぶ、など身体的、精神的欲求を無条件に満たされることが繰り返されることによって、特定の大人への信頼と安心を得ることができ、そこに良心が育ちます。これが愛着の絆の第一歩となります。子どもの脳の発達のためには愛着の絆が欠かせないということがわかってきたそうです。とは言え、お子さんと一緒にいて困ったり、悩む時もあるかもしれません。そんな時は、保育園を思い出してもらい、私たちに相談してください。そして一緒に考えていきましょう。

またWHO(世界保健機関)からは、「新型コロナウイルスから子どもの心を守る。WHOから世界中の保護者たちへ」が発信されています。

日本小児保健協会が和訳してホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。

<https://www.jschild.or.jp/archives/1759/>

保育園では大人や友だちとの関わりの中で、五感を通して学びながら様々な力を育み成長していきます。どうしても3密(密接・密集・密閉)の状態になってしまいますが、食事の席を対面にしない、午睡中の布団を離す、保育室の換気をするなど、今できる最善を考えていきながら子どもたちを守っていきたいと思います。(園長 高橋 里香)

● ピオトープ横の花壇にカボチャの苗を植えました ●

園だより5月号で紹介した幼児のクラス担任が育てていたカボチャの苗の写真をご覧ください。その苗が6月4日(木)に保育園ねがいに引越してきました。ピオトープ横の花壇にほし・つき・にじ組の子どもたちがシャベルで穴を掘り、カボチャの苗を入れて土をかけて植えました。子どもたちに最初は種から始まることを知って欲しかったので、プランターに種も植えました。芽が出てきて、今と同じ状態に生長する過程も見たいです。

カボチャの栽培を通して、植物の世話をする過程から、いのちの大切さと、自然の恵みと感謝する気持ちを育てることを大事にしています。



新芽が出ました

カボチャの苗

クロウリハ虫

みんなで苗を植えています

苗に藁の布団をかけました

● 6月の行事予定 ●

- 1日(月)～11日(木) 導入保育(新入園児)
- 11日(木) 身体測定(全クラス)
- 18日(木) 内科健診(全園児)
- 24日(水) 礼拝(ほし・つき・にじ組)
- 26日(金) 消火避難訓練
- 29日(月) 誕生会(ほし・つき・にじ組)

※身体測定・幼児クラス誕生会の日程を変更しました。

※乳児クラスの誕生会は、各クラスでお子さんの誕生日に行います。(誕生日が休みの日は、次の日に行う予定です。)

●ユリが咲きました●

園庭倉庫横にあるプランターに黄色・橙色・赤色のユリの花が咲きました。蕾をつけてこれから咲く茎が何本もあります。もう1ヶ所、ピオトーフ奥のプランターにも蕾をつけたユリがありますので、良かったら登降園時にUR広場から覗いてみてください。

今度は、何色の花が咲くか今から楽しみです。



お知らせ

◎6月の行事について

年間予定でお知らせしていましたが以下の行事は、新型コロナウイルス感染防止の自粛期間の為、延期または中止することにしました。

6月1日(月)～5日(金) 0・2歳児保育参加【延期】

6月8日(月)～12日(金) 1・3・4・5歳児保育参加【延期】

※保育参加は、9月から行われる各クラスの個人面談の週に合わせて行う予定です。詳しいことは、お手紙にて後日お知らせいたします。

6月30日(火) 園庭開放【中止】／ほっとするコーヒーやさん【中止】

◎新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、行事の日程を変更いたします。

夕涼み会 7月18日(土) ⇒ 9月5日(土)

運動会 10月24日(土) ⇒ 10月17日(土)

※詳しいことは、それぞれお手紙にて後日お知らせいたします。

● 6月のクラス目標 ●

- 0歳)・保育者との温かな関わりを通して、新しい環境になれ、安心して保育者と過ごす。
 - ・保育者に見守られながら、腹ばいやハイハイ、歩行などで活発に身体を動かしたり、探索して遊んだりする。
- 1歳)・安心できる保育者との関わりから、自分の思いを豊かに表す。
 - ・砂、花、水といった身近な自然を、保育者と一緒に見たり触れたりして遊ぶ。
- 2歳)・ゆったりとした環境や流れの中で、保育者や友だちと過ごす。
 - ・砂、水、泥などに触れて感触を味わい、伸び伸びと遊ぶ。

- 3歳)・保育者のあたたかいまなざしの中で、やりたい遊びを十分に楽しむ。
 - ・保育者や友だちと自然物に触れながら、発見や気づきを喜ぶ。
- 4歳)・新しい環境に慣れ、友だちと一緒に好きな遊びを楽しむ。
 - ・梅雨の時期の自然や動植物に興味や関心が広がる。
- 5歳)・新しい環境に慣れ、保育者や友だちと一緒に生活することを喜ぶ。
 - ・身近な生き物や自然に関心を持ち、感じたり思いを表現して楽しむ。

